

乳癌(進行・再発)

2nd, 3rd Line

Pertuzumab+trastuzumab+Eribulin療法 (導入)

()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

アルコールアレルギー ※
必ず有無を確認

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース21日

使用基準: 開始時 classB 2回目以降 class C

使用薬剤: ペルツズマブ: ペルツズマブ (1V: 420 mg)

トラスツズマブ: トラスツズマブ (1V: 150mg, 60mg)

エリブリン: エリブリン注 (1mg/2mL)

※ 投与前~投与中の心機能異常に要注意

※ Infusion Reaction に要注意

投与中又は投与開始後24時間以内に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用（気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等）の発現の報告あり。

Infusion reactionが高頻度で発現する点滴開始後2時間以内は特に要注意。

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)	投与日
ペルツズマブ	840 mg/body	840		1
トラスツズマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1
エリブリン	1.4 mg/m ²	#VALUE!		1.8

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

day	時刻	薬剤	投与量	注
day 1	1月1日 (金)			
	0時00分	① 生理食塩液 50mL		血管確保用で速度適宜にて点滴静注
	0時15分	② 生理食塩液 250mL + ペルツズマブ	mg	60分で点滴静注 0.00 ml
	1時15分	③ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)		60分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)
	2時15分	④ 生理食塩液 250mL + トラスツズマブ	mg	90分で点滴静注 0.00 ml
	3時45分	⑤ 生理食塩液 100mL (フラッシュ)		30分で点滴静注 (経過観察を十分におこなう)
	4時15分	⑥ 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 3.3mg		15分で点滴静注
	4時15分	⑦ 生理食塩液 50mL + エリブリン	mg	全開5分以内で点滴静注 0.0mL
day 8	1月8日 (金)			
	0時15分	① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 3.3mg		15分で点滴静注
	0時30分	② 生理食塩液 50mL + エリブリン	mg	全開5分以内で点滴静注 0.0mL
	0時35分	③ 生理食塩液 50mL (フラッシュ)		フラッシュ

REFERENCE

福山市民病院倫理委員会 受付番号245

2015年12月度化学療法プロトコール審査委員会承認: 2015年12月14日 更新: 2016年2月8日